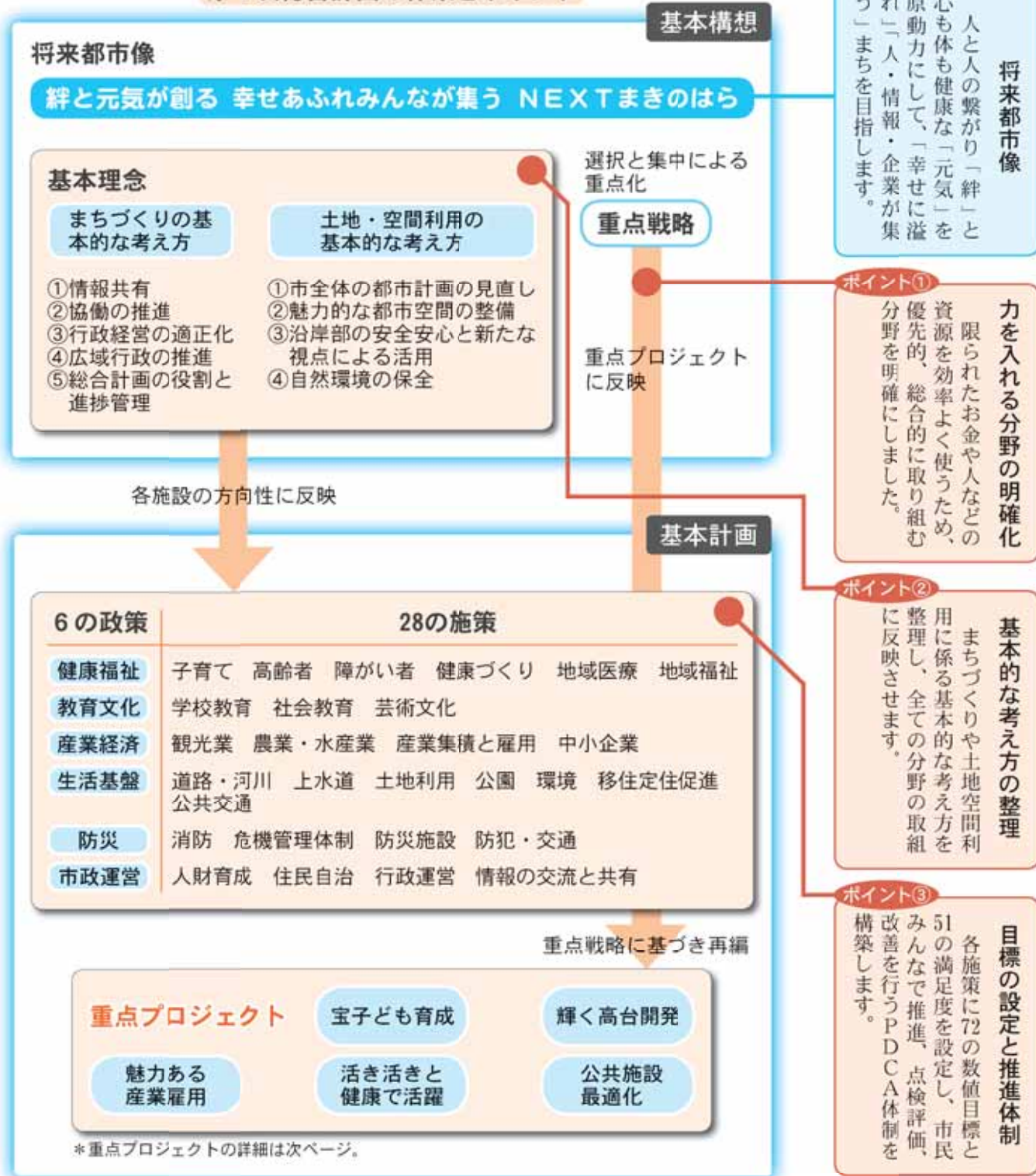




第2次総合計画の体系とポイント



第2次牧之原市総合計画を策定

これからのまちづくりの設計図

牧之原市が次世代に向けて更なる発展を遂げるため、新たなまちづくりの設計図となる総合計画を策定しました。市民の絆や元気を原動力にして、幸せに溢れ、人や企業、情報などが集まる牧之原市を目指しみんなで取り組みましょう。

問い合わせ 企画課 本間 ☎0040

策定の背景と経緯

牧之原市は、豊かな自然や特色ある産業、優れた交通インフラなど多くの魅力を持つ一方で、震災や経済構造の変化などの影響を受け、人口減少、少子高齢化が進んでおり、将来に渡って持続可能なまちづくりに早急に取り組むことが不可欠です。

まちづくりの設計図である総合計画の見直しを1年前倒し、このような状況に市全体で目標を共有して立ち向かうため、市全体で推進していく体制を構築し、策定作業の各過程では市民の皆さんに関わってもらいながら進めてきました。(下図のとおり)

こうして約1年間かけて、多くの市民の皆さんの将来への希望が盛り込まれた総合計画案が策定され、その基本構想は、平成26年の市議会9月定例会において全会一致で可決されました。

今後は、計画に基づく具体的な取り組みを効果的に実施するため、市民の皆さんの計画への理解を深めるとともに、将来に渡って持続可能で住みたい・住み続けたいまちづくりに向けて、着実に前進するよう取り組んでいきます。



*策定経緯は次号で詳細を紹介します。

総合計画の概要

▼公共計画としての位置付け
行政の計画的な取組を記載する計画から、市民、地域、団体、企業が市全体で共有して取り組む計画へと位置付けを変え、推進や点検評価などにおいても、市全体で進める体制を構築し、目標の実現に向けて高い実効性を確保しながら取り組めます。

▼計画の構成
将来都市像や基本的な考え

▼計画期間
基本構想は、平成27年度から34年度までの8年間とした。基本計画は、4年単位で作成し、基本構想の中間で内容を見直します。実施計画は4年単位で作成し、毎年内容を見直します。

方を示す基本構想、政策の体系と個別の施策の進め方を示す基本計画、具体的な事業を示す実施計画の3つの計画となっています。